

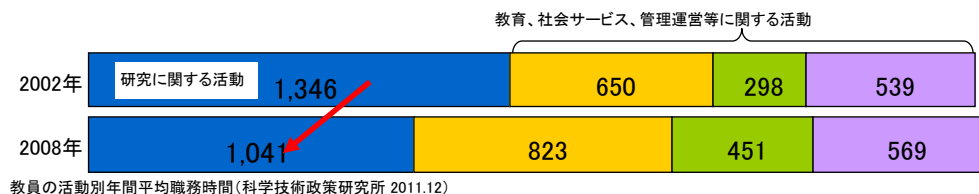
## リサーチ・アドミニストレーター(URA)

- University Research Administratorの略
- 単に研究に係る行政手続きを行うという意味ではなく、大学等において、研究者とともに、研究活動の企画・マネジメント・成果活用促進を行う人材群



## 我が国におけるURAの必要性(問題意識の一例)

我が国の大学等では、研究開発内容について一定の理解を有しつつ、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等を行う人材が十分ではないため、研究者に研究活動以外の業務で過度の負担が生じている状況にある。



## URA施策推進の(主な)ねらい

- ① 「大学等において、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等を総合的にマネジメントできる研究開発に知見のある人材」= URA を育成・確保する **全国的なシステムを整備**するとともに、**専門性の高い職種として定着**を図る。

### 【目的】

- ①研究者の研究活動活性化のための環境整備
- ②研究開発マネジメントの強化による研究推進体制の充実強化
- ③科学技術人材のキャリアパスの多様化



- ② 未だURA導入の初期の段階であり、その導入に当たっては、**大学における研究推進体制等のシステム改革**が必要。



当面、政府の配置支援によりURAの**先進的な事例を蓄積**し、最終目標としては、**各大学等の自主的な判断**でURAが配置・活用され、**全国規模で定着**していく流れをつくる。

## リサーチ・アドミニストレーター施策について②

(続き)

③ ①、②を含めシステム整備等を推進するため、次の事業を実施。

- ・ スキル標準の策定、研修・教育プログラムの整備など、URAを育成し、定着させる全国的なシステムを整備(平成23年度開始/東京大学、早稲田大学)

- ・ 研究開発に知見のある人材を大学等がURAとして活用・育成することを支援(平成23年度開始/東京大学、東京農工大学、金沢大学、名古屋大学、京都大学)

平成24年度開始(多様性を確保するため3種類の事業タイプで公募)/

「世界的研究拠点整備」 : 北海道大学、筑波大学、大阪大学、九州大学

「専門分野強化」 : 新潟大学、山口大学、東京女子医科大学

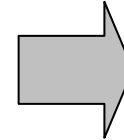
「地域貢献・産学官連携強化」: 福井大学、信州大学、九州工業大学

**当面、「制度化」→「制度の定着」→「全国展開」  
に向け各事業を推進**

## リサーチ・アドミニストレーターとは？ ～導入の政策的効果～

### ●研究者の研究活動活性化のための環境整備

- ・十分な研究時間の確保
- ・最適な研究企画・実施体制の構築

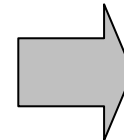


**研究の質の向上・加速**

**若手研究者が活躍できる環境**

### ●大学等の研究開発マネジメントの強化

- ・社会・経済のニーズの把握、成果の円滑な活用の促進、アウトリーチ活動の強化
- ・戦略的な外部資金獲得サイクルの確立と、研究目標達成に向けた組織的取組の強化
- ・コンプライアンス、利益相反、安全保障貿易管理、倫理的課題等への適切な対応
- ・研究資金・人的資源の効果的・効率的な執行



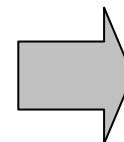
**社会・経済への貢献**

**日本全体の研究パフォーマンス・  
国際競争力の向上**

**イノベーションの促進**

### ●科学技術人材のキャリアパスの多様化

- ・科学技術人材の新たな職域の開拓と雇用拡大
- ・学内及び産学官間の人材交流の促進

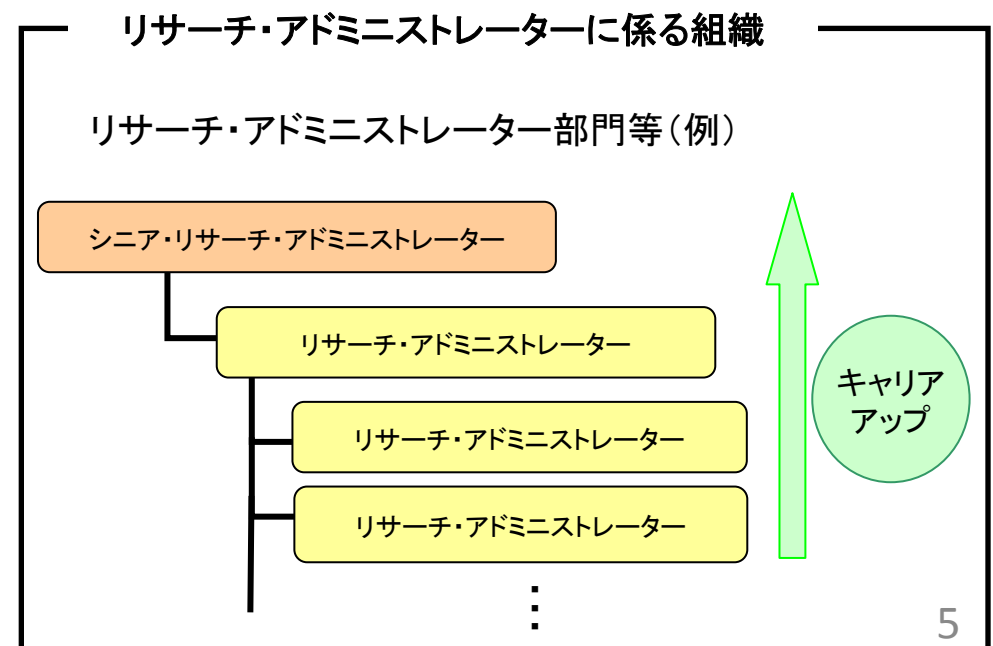
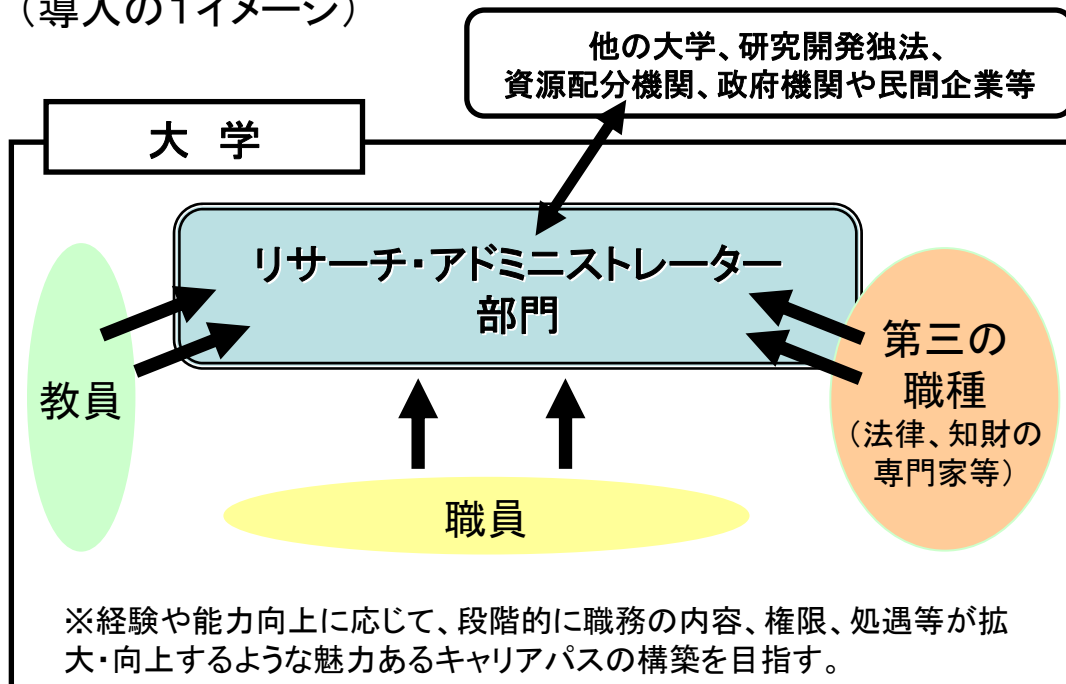


**科学技術人材の  
多様化・流動性の向上**

# リサーチ・アドミニストレーターの導入イメージ

- 大学における研究推進体制の高度化・効率化に向けた将来構想を踏まえ、リサーチ・アドミニストレーターに係る**組織・体制を整備**。
- リサーチ・アドミニストレーターの雇用に当たっては、教員・職員のみならず、いわゆる中間職等の**「第三の職種」の創設・活用**も考えられる。
- リサーチ・アドミニストレーターに係る組織に配置された者は、同組織を中心にキャリアを積み、例えば、他の大学、研究開発独法、資源配分機関、政府機関や民間等との人事交流や、最終的には同組織の長、理事にもなり得るような魅力のあるキャリアパスの構築を目指す。

(導入の1イメージ)

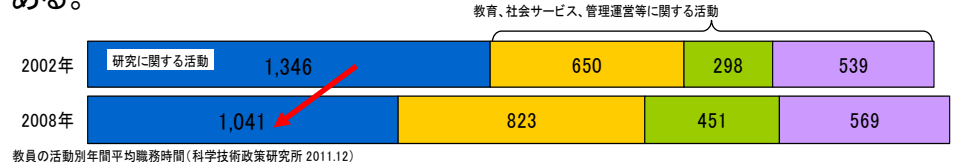


# 「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」各プログラム

平成24年度予算額 : 1,141 百万円  
 (平成23年度予算額 : 300 百万円)

## 背景

我が国の大学等では、研究開発内容について一定の理解を有しつつ、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等を行う人材が十分ではないため、研究者に研究活動以外の業務で過度の負担が生じている状況にある。



## リサーチ・アドミニストレーター(URA)

大学等において、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等を総合的にマネジメントできる研究開発に知見のある人材を育成・確保する全国的なシステムを整備するとともに、専門性の高い職種として定着を図る。



## 概要

- ① スキル標準の策定、研修・教育プログラムの整備など、リサーチ・アドミニストレーターを育成し、定着させる全国的なシステムを整備
- ② 研究開発に知見のある人材を大学等がリサーチ・アドミニストレーターとして活用・育成することを支援

### 制度化

### 展開

### 定着

① 研究環境整備をサポ

② 大学等における研究環境整備

#### 【H23スタート】スキル標準の策定

・スキル標準の作成を大学に委託

【東京大学】

#### 【H23スタート】研修・教育プログラムの整備

・スキル標準を活用した全国的な研修・教育プログラムを作成・実施

【早稲田大学】

活用 ↓ 協力 ↑

#### 【H23スタート】リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備

・リサーチ・アドミニストレーターを配置し、リサーチ・アドミニストレーションシステムを整備

継続分 5拠点 【東京大学、東京農工大学、金沢大学、名古屋大学、京都大学】

新規分 10拠点

拠点の拡充(多様な取組を支援)

「世界的研究拠点整備」 【北海道大学、筑波大学、大阪大学、九州大学】  
 「専門分野強化」 【新潟大学、山口大学、東京女子医科大学】  
 「地域貢献・産学官連携強化」 【福井大学、信州大学、九州工業大学】

#### リサーチ・アドミニストレーターの業務

○シニア・リサーチ・アドミニストレーター  
 リサーチ・アドミニストレーター組織の統括、大型研究プログラムの主体的な運営・進行管理等  
 ○リサーチ・アドミニストレーター  
 研究開発や産学連携の複数プロジェクトに係る申請、競争的資金等の企画・情報収集・申請、採択後の運営・進行管理、情報収集、交渉等

## 目的

- ① 研究者の研究活動活性化のための環境整備
- ② 研究開発マネジメントの強化による研究推進体制の充実強化
- ③ 科学技術人材のキャリアパスの多様化

事務費(会議出席謝金、会議出席旅費、委員会等開催経費等)